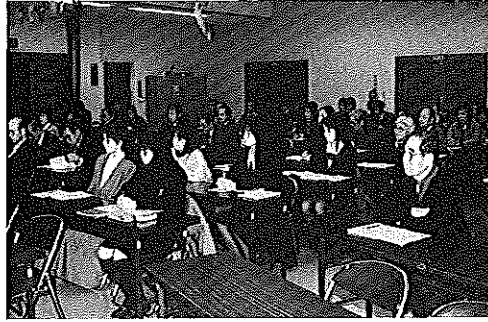


学ぶまち

《地域づくりは人づくり》

「まちづくりの仕掛人は語る」と題して、他市町の「まちづくり実践家、THE MAN」に仕掛けの動機や苦労話、幾つかの実践事例の紹介など本音を聴くコミュニティ講座（2月26日、3月3日、3月11日）を開催。市内各地域から約80名が参加して、社会福祉センターで行われた。

第1回目の講師、三隅町のむらづくり推進協議会長岡本長一さん（69才）は、「リーダーは、相手の目を見て語りかけ、話を聞いてあげることが大切」「やらないよりもやって、失敗したら誤ちを認めてまた、やるしかない」と、地域づくりは人づくりについて力説された。



（研修会場 市社会福祉センター）

地域で何が起きているか

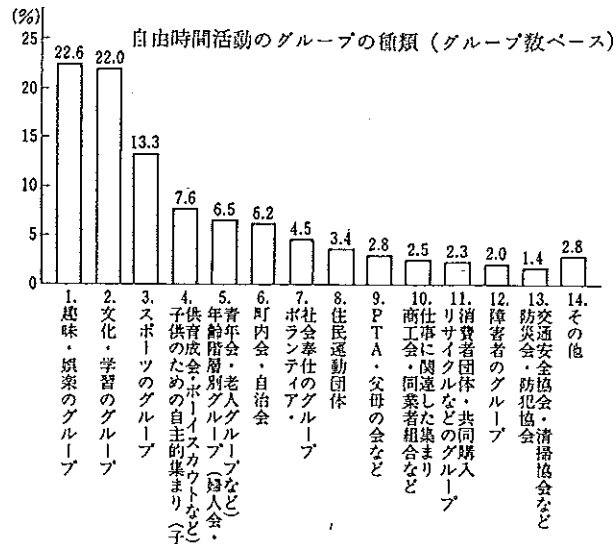
—多様化している地域の活動—

地域で行われている活動を狭い意味の町内会、自治会等をこえて自由時間グループ全般にひろげて調査するとスポーツ活動グループ、文化活動グループ、身障者福祉ボランティアグループをはじめとして、古文書の解読等174種類にも及ぶ活動内容がある。

地縁的組織以外のグループは、グループ数でも構成メンバー数でも全体の8割を占めておりとくに文化・学習、スポーツ、趣味・娯楽グループでは、規模は小さいが多種多様で活発な活動が展開

されていることがわかる。

「コミュニティ形成に資する自由時間・活動の構造分析調査」報告書（経済企画庁国民生活局編より）



コミュニティを学ぶ

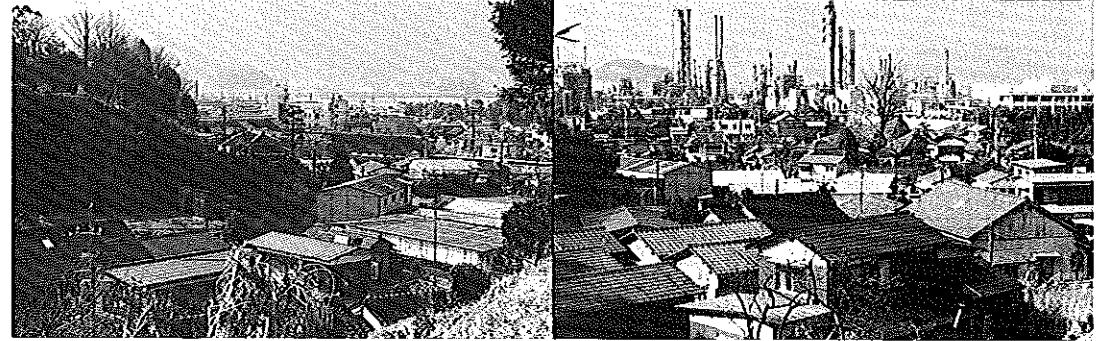
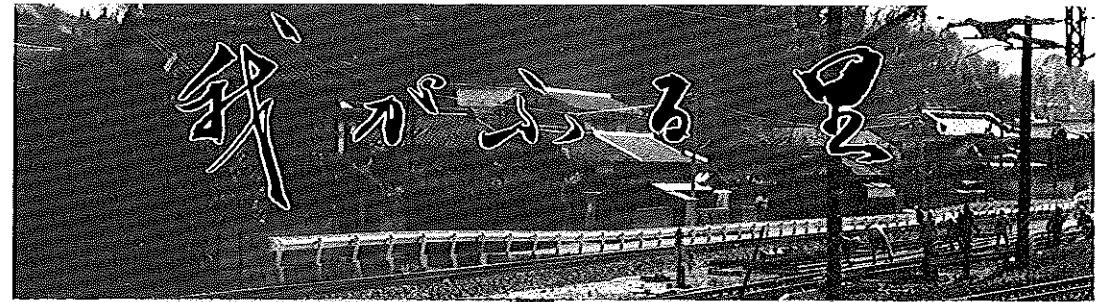
コミュニティは、生活の場において、市民としての自主性と責任を自覚した個人および家庭を構成主体として、地域性と各種の共通目標をもった、開放的でも構成員相互に信頼感のある集団を呼ぶことができる。

近代市民社会において発生する各種の機能集団のすべてが含まれるのではなく、そのうちで生活の場に立脚する集団に着目しなければならない。

コミュニティくめ

手をつなぐ
伸びゆく我がまち
我が郷土

〈第8号〉
昭和63年3月25日発行
久米地区コミュニティ推進協議会
事務局：久米公民館内



〈ふれあうまち〉院内

（次号は他地域）

皆様へお礼とお願い

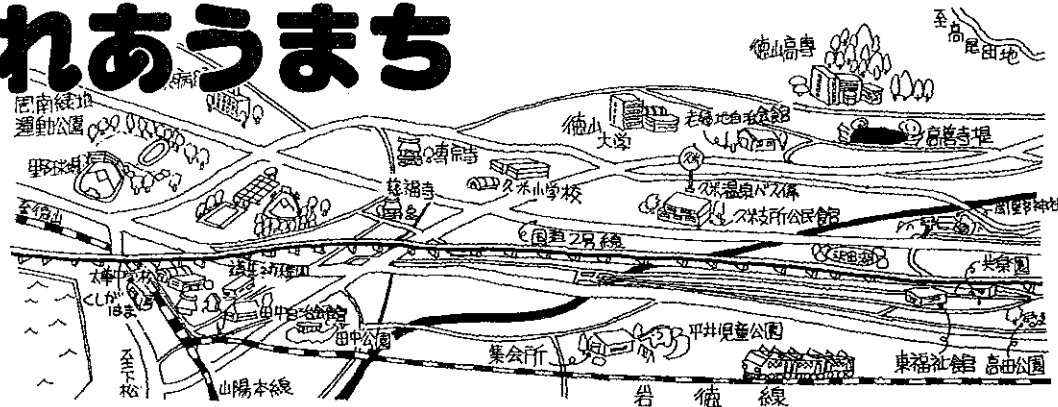
コミュニティ推進協議会会長 林 和美

コミュニティ推進活動に対しましては、平素格別のご理解ご協力をいただき謹んで厚く御礼を申し上げます。特に自治会連合会、婦人会、体育振興会並びに民生児童委員会等各種団体には特段のご高配を賜わり重ねて感謝申し上げます。

今、各地域においては新しい「ふるさどづくり運動」がすすめられております。それぞれの地域らしさを再発見し創り上げるため、話し合いや助け合いを大切にし、地域の祭りやイベント等にも積極的に参加を呼びかけております。

久米地区においても、郷土の自然、歴史、文化等を見つめなおし、私たちの住んでいる地域を個性豊かなものにするため、コミュニティ活動を地道ではありますがすすめてまいりたいと思っておりますので一層のご協力をお願い申し上げます。

ふれあいまち



2月11日、例年のよう日本国の誕生を祝う「建国記念の日」の式典が行われました。そして第22回久米地区駅伝大会が、一般チーム、ひばりヶ丘、坂本、老郷地下、久米市、田中、椿ヶ丘、共楽園A、西久米の8チームが参加。

オープン参加として、スポーツ少ソフト、共楽園B、太華中バレー・陸上の各チームが競い合いました。今年は、駅伝大会出発までの時間にゲートボールとゴルフをミックスした「ダイヤモンドゴルフ」の競技も行われました。

好天に恵まれ、沿道の声援にも
▼力が入ります



▲奉祝式典



心の絆
恒例の催し



▲公開競技・ダイヤモンドゴルフ



▲花の13区(ゴルフ)

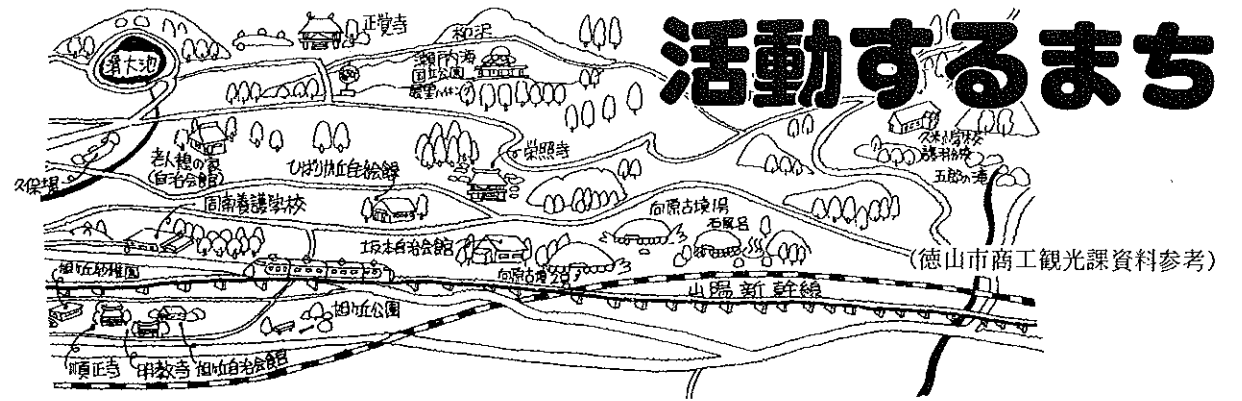


▲優勝
田中チーム

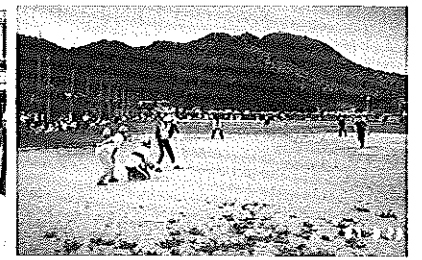
二位
久米市チーム

三位
共楽園Aチーム

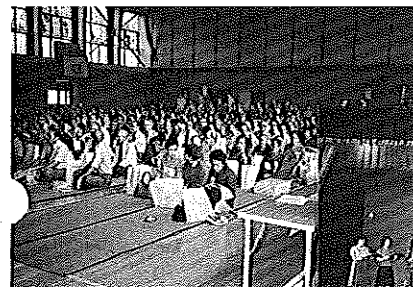
活動するまち



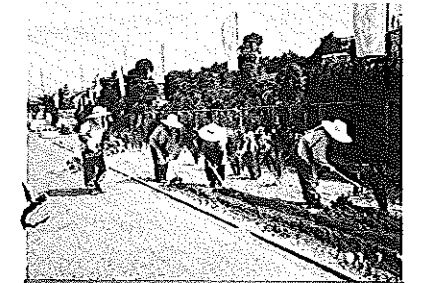
参加しましたか？地区スポーツ大会
(ソフトタッチバレーボール・ゲートボール・ソフトボール他)



地域のため
できること



いつまでもお元気で！
地区敬老会



徳山東インターチェンジの工事のため消えてしまう花壇、長い間楽しませていただいていた有難うございました。



▲シルバースポーツ大会



▲地区文化祭



▲天神山清掃